

(案)

平成21年3月 日

国土交通省北陸信越運輸局長 殿

申請者名 小松市地域公共交通活性化協議会
代表者名 会長 北出 信正

平成21年度 地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画
認定申請書

地域公共交通総合連携計画策定調査実施計画の認定を下記のとおり申請します。

記

申請者	申請者名：小松市地域公共交通活性化協議会
	代表者名：会長 北出 信正
	構成員：別添「小松市地域公共交通活性化協議会委員名簿」のとおり
連絡先（事務局等）	所在地（都道府県名も記載）： 〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
	担当者名：小松市総務企画部企画課
	TEL：0761-24-8037
	FAX：0761-21-0285
	E-mail：kikaku@city.komatsu.lg.jp

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

小松市では、公共交通機関のピーク時の昭和43年には、私鉄バスと電車が小松駅を中心に24路線あり、年間の延べ利用者数は私鉄3線で約270万人、路線バスは800万人であった。しかし、車社会の進展や近年の少子化などの影響で年々利用者が減少し、現在では、私鉄バスのみが18路線運行し、年間利用者数は10分の1にまで減少しています。

運営するバス会社では、業務の合理化や経費削減などの効率化を進め、ノンステップバスを導入するなどの利便性の向上を図りながら経営努力を行っていますが、状況は非常に厳しく、県や市が補助金を出しながらバス路線の維持に努めているのが現状であります。しかし、市の補助額も年々増加し、平成20年度では37,000千円余りとなっており、このまま利用者の減少が続くとバス路線の維持が難しい状況にあります。

このため、バスの利用促進のため、平成20年10月から65歳以上の高齢者を対象に一定額で市内路線バスに乗り放題となるシルバーパスポート導入実証実験や交通空白地域や将来の市街地における交通ネットワーク形成のため、新たに2路線のコミュニティバスの試験運行を行っています。また、利用促進を図っても利用が見込めない赤字路線については、廃止を含めた見直しを行うため、市独自の見直し基準を策定し、平成20年11月に対象となる6路線9系統を選定し、町内会などに通知するとともに、今後、利用が改善されなければ見直しの協議を行う予定であります。

現在、シルバーパスポート導入実証実験により、路線バスの利用者数も増加しているが、さらなる利用者の増加が必要であり、新規2路線の運行については、利用者が充分とはいえない状況にあります。また、見直し路線について、見直しとなった場合には代替交通についても地域住民と連携した取り組みが必要となっております

2. 地域公共交通総合連携計画策定調査の必要性

公共交通は、車を持たない学生や高齢者にとってなくてはならない重要な交通手段であり、福祉施策、定住施策としても重要であります。

このため、公共交通の活性化・再生のため、利用者や住民のニーズ把握を徹底的に実施し、公共交通活性化策の検討と分析・収支予測、コミュニティバスの運行検証や代替交通の導入等、本市における総合的な交通体系を検討と新たな指針づくりが必要となっております。

この取り組みを積極的に推進するためにも、地域における関係者の合意の基で取り組む地域公共交通総合連携計画策定調査の実施が必要不可欠であります。

3. 調査の内容	
調査の名称	調査の内容
現況交通実態調査	路線バス・コミュニティバス乗降者調査 シルバーパスポート利用実態調査
利用者等ニーズ把握調査	路線バス利用者アンケート・ヒアリング 市民アンケート 空港・JR駅利用者アンケート・ヒアリング 企業・学生アンケート
需要予測・収支分析	試験運行路線・新規路線の需要予測と収支分析
連携計画の検討・作成	交通ネットワーク形成の計画の作成 都市部・郊外部・山間部別の運行形式・再編計画の作成 重点施策の抽出と事業計画の作成

4. スケジュール				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印() または横棒線() で記載。				
調査の名称	4月	9月	12月	3月
現況交通実態調査		—————		
利用者等ニーズ把握調査		—————		
需要予測・収支分析			—————	
連携計画の検討・作成				—————

5 . 予算計画			
調査の名称	総事業費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
現況交通実態調査	1,000千円	1,000千円	千円
利用者等ニーズ把握調査	2,500千円	2,500千円	千円
需要予測・収支分析	1,500千円	1,500千円	千円
連携計画の検討・作成	2,000千円	2,000千円	千円
小計	7,000千円	7,000千円	千円